

令和2年度事業報告

1 調査研究事業

(1) 調査研究活動

- ① 幼小連携に役立つ森林体験プログラムに関する調査研究
(助成者) (公社) 国土緑化推進機構
(期 間) 令和元年7月～令和2年6月
(概 要) 森で行う園外保育等による森林体験を通じて、授業が成立しないという「小1プロブレム」の解消に貢献する幼小連携プログラムの実施に資するため、森で行う幼児・児童の連携プログラムの実践事例の紹介とプログラムに活用できるアクティビティ集を作成し、「森で行う幼児・児童の連携プログラムー森林インストラクターが活動するためにー」と題する手引書にまとめ、会員他関係者に配布した。

- ② 幼児教育等と森林インストラクターのマッチングシステムに関するフォーラムの開催
(助成者) (公社) 国土緑化推進機構
(期 間) 令和2年7月～令和3年6月
(概 要) 森のようちえん活動を推進していくためには、自然体験活動の指導者の活用が有効であることから、幼稚園等に指導者を外部講師として紹介するシステムの構築に資するフォーラムを開始し、報告書を作成する。

- ③ 森林を活用した障害者・高齢者の保健休養及びレクリエーションの今後の展開方向に関する実証的調査事業
(助成者) (一財) 日本森林林業振興会
(期 間) 令和2年9月～令和3年6月
(概 要) 障害者や身体に支障のある高齢者の森林を活用した保健休養及び森林レクリエーション、森林スポーツの普及を図り、障害等の有無にかかわらず、すべての人が森林を活用し、その保健休養効果やスポーツ、レクリエーションを享受できるように、効果的な利用プログラムを開発するとともに、その活動を支援する人材育成及び体制づくりを検討する。

(2) 調査研究活動の成果の普及

「森で行う幼児・児童の連携プログラムー森林インストラクターが活動するためにー」を会員及び林野庁、森林管理局等の関係機関に配布した。

既刊の「森林・林業体験の基礎」、「森林環境教育の手引き」、「森林体験活動指導者のための安全管理ハンドブック」、「林業・山村から学ぶ続森林環境教育アクティビティ集」、「絵で見るもりのマナーと安全」等の普及に努めた。

また、「森林インストラクター養成講習テキスト 改訂6版」を一般配布するとともに、森林体験活動に必要な資材等の助成を行った。

2 普及啓発事業

(1) 機関誌（情報誌）の発行等

機関誌（情報誌）「森林レクリエーション」を毎月発行し、会員をはじめ都道府県、森林管理局・署、関係団体等に配布（No.395(2020年4月)～No.406(2021年3月)、各号810～870部）。

(機関誌（情報誌）の主な掲載テーマ)

① 森林レクリエーション活動に関する情報

- 林業遺産の保全・資源化・活用の可能性ー台湾から学ぶー（No.400）
- デジタル森林紀行の開設についてー森林が織りなす美しい風景を楽しみませんかー（No.401）
- 第5回世界遺産の森と木フォトコンテスト作品募集（No.402）
- 令和2年度「山の日」記念行事 木の里 西川林業地を訪ねてー西川林業の見学と講演ー（No.403）

② 森林環境教育・健康等に関する情報

- 「森のようちえん」の実践事例（2）ー森のようちえん ぴっぱら（北海道鷹栖町）ー（No.395）
- 「森のようちえん」の実践事例（3）ーキトウシこどもの森（通称：キトキト）ー（No.398）
- 〈連載〉森林と健康ー森林浴、森林療法のいまー 第17回, 第18回, 第19回, 第20回, 第21回, 第22回, 第23回（No.396, 397, 398, 399, 402, 403, 405）

- 新刊紹介「東大式癒しの森のつくり方 森の恵みと暮らしをつなぐ」
(No.402)
- “バリアフリー”・“ユニバーサルデザイン”と森林(1)(No.406)
- ③ 森林を活用した地域振興等に関する情報
 - 地域創生のためのデザイン戦略(3)(北海道北竜町)(No.396)
 - 第32回森林レクリエーション地域「美しの森づくり活動コンクール」受賞団体の活動(No.400, 401)
 - わがまち 山紫水明の大地と歴史の町(福島県猪苗代町)(No. 402)
- ④ 森林・林業に関する行政等の情報
 - 令和元年度森林・林業白書の公表(No.399)
 - 令和3年度林野庁予算(概算決定)から(No.405)
- ⑤ 当協会に関する情報
 - 森林インストラクター「資格試験」及び「養成講習」のご案内(No.395)
 - 親子スキー・スノーボード教室 in ジュネス栗駒スキー場の開催(秋田支部)(No.395)
 - 第32回森林レクリエーション地域「美しの森づくり活動コンクール」受賞団体の発表・プロフィール(No.396, 397)
 - 第36回通常総会の開催(No.398)
 - 令和2年度森林インストラクター資格試験合格者の発表(No. 404)
 - 函館支部定期総会の開催(No.400)
 - 道央支部運営会議の開催(No.401)
 - 国有林野事業業務研究発表会において協会会長賞を授与(No.403)
 - 令和3年度森林インストラクター「資格試験」及び「養成講習」の日程等のお知らせ(No.406 予定)
- ⑥ その他の情報
 - 二季咲きのサクラ(No.395)
 - 森林がもたらす文明盛衰の歴史(その2)(No.397)
 - 森林がもたらす文明盛衰の歴史(その3)(No.399)
 - スギの故郷を尋ねて(1)－縄文~弥生時代のスギ林の遺跡－(No.403)
 - スギの故郷を尋ねて(2)－太平洋側の天然スギ(オモテスギ)－
(No.406)
 - 樹木名の話(1)(No.405)

(2) 会員への情報提供等

森林のレクリエーション利用等に関する各種情報（関連情報）の収集を行うとともに、会員のメーリングリストにより会員への情報提供を適宜行った。

また、協会関連ホームページ（URL：<http://www.shinrinreku.jp>）の適時の更新・充実に努めた。

(3) 森林レクリエーション地域「美しい森づくり活動コンクールの実施（旧森林レクリエーション地域美化活動コンクール）

第32回森林レクリエーション地域「美しい森づくり活動コンクール」については、新型コロナウイルス感染症対策のため、例年通常総会において実施している表彰式を中止し、賞状等の送付により表彰式に替えた。

第33回森林レクリエーション地域「美しい森づくり活動コンクール」として、都道府県や森林管理局、当協会支部を通じて、森林レクリエーション活動が行われている地域において、景観の保全・向上のための森林整備、利用者の利便性、安全性の向上のための施設整備、森林の有効活用によるレクリエーション活動、美化のための清掃・ゴミ拾い及び動植物の保護のための活動等を積極的に行っている学校、地域グループ、職場グループなどのボランティア団体等の推薦公募（締め切りは令和3年2月10日）を実施し、28団体の推薦があった。

なお、審査委員会は令和3年4月に実施した。審査の結果、次の受賞団体が決定した。

○農林水産大臣賞（1点）

美人林を守る会（新潟県十日町市）

○林野庁長官賞（2点）

伏木ふれあいの杜管理協力会（富山県高岡市）

北郷森林ガイドいつつの木（宮崎県日南市）

○一般社団法人全国森林レクリエーション協会会長賞（5点）

オホーツク森林づくりクラブ（北海道紋別市）

みどり十字軍（宮城県仙台市）

フォレストサポート・高尾（東京都八王子市）

森の仲間（新潟県見附市）

岩崎里山の会（愛知県豊橋市）

○奨励賞（5点）

- ひだまり里郷プロジェクト（栃木県高根沢町）（特別奨励賞）
- 函館有鄰会（北海道函館市）
- ユニバーサルパーク・ネットワーク（青森県八戸市）
- 滋賀グリーンクラブ（滋賀県近江八幡市）
- フォレスト・マントル上鹿川（宮崎県延岡市）

(4) 第34回森林レクリエーション全国研修会の開催

第34回森林レクリエーション全国研修会については、開催予定日を令和2年10月下旬、開催予定場所を静岡県伊豆市において開催することで準備を行っていたが、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、本年度の開催を中止した。

(5) 「山の日」記念事業の実施

令和2年11月11日（水）に「山の日」記念行事として、（一財）日本森林林業振興会及び（一社）日本森林インストラクター協会との共催により、「木の里 西川林業地を訪ねて ～西川林業の見学と講演～」と題し、埼玉県飯能市の井上山林（飯能市井上）の見学と林業経営者・きまま工房木楽里主宰 井上淳治による記念講演を実施した。山林見学及び記念講演には、公募による一般参加者、スタッフ等62名が参加した。

(6) 森林環境教育ネットワーク事業

森林環境教育推進総合対策事業（林野庁補助事業（平成19～21年度））の実施結果を受けて、引き続き森林環境教育の推進に資するため、活動団体等のネットワーク化を図るためのウェブサイトの運営、メールマガジンの配信。

- ① ウェブサイト「森で学ぼう!! 森林環境教育ネットワーク」の運営
URL：<http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>
- ② メールマガジンの配信（会員登録数：約800）

(7) 子ども樹木博士認定活動への支援

子ども樹木博士認定活動の目的等をPRするとともに、情報交流等により本活動を全国的に推進する「子ども樹木博士認定活動推進協議会」の事務局として、

- ① 機関誌「子ども樹木博士ニュース」の発行（年4回、各回850～900部）

- ② 子ども樹木博士認定証や「子ども樹木博士のための樹木ガイド」の提供
- ③ 実施団体や活動記録等の整理・取りまとめ
- ④ 資料の配布やインストラクターの紹介

なお、例年開催されている「みどりとふれあうフェスティバル」（日比谷公園）は、出展及び子ども樹木博士認定活動の開催等の活動を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策等の観点から開催が中止された。

(8) 「森林共生フォーラム」の活動への支援

森林と人との共生に関する総合的な調査研究、情報の収集・提供、研修会等を行う「森林共生フォーラム」の事務局として、研究会(4回)や現地研修会(1回)の開催等の活動を実施予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策ため令和2年の研究会の開催は1回の開催となった。

林共生フォーラム

令和2年度（令和2年1月～令和2年12月）の活動状況

研究会等の開催	テーマ・講師等
第1回研究会 (3月5日中止)	「サクラの新しい分類と桜樹の管理」 講師 一般社団法人林業薬剤協会 会長 田中 潔 氏 ※新型コロナウイルス感染症対策の観点から中止
第1回研究会 (11月25日)	① 「令和元年度における森林環境譲与税の取組状況について」 講師 林野庁森林整備部森林利用課森林集積推進室長 安高 志穂 氏 ※当研究会は、会場への出席のほか、会員及び当協会会員へ ZOOM ウェビナーで配信した。(ZOOM ウェビナーでの参加者 15名)
現地研修会 (10月下旬)	本年度は、開催場所を静岡県伊豆市として、10月下旬に開催することとして準備していたが、新型コロナウイルス感染症対策の観点から中止した。

(9) 他団体主催行事への後援等

- ① 第30回森と花の祭典・みどりの感謝祭（協賛）
令和2年5月10日・11日（イイノホール及び東京都立日比谷公園）
新型コロナウイルス感染症対策のため中止。
- ② 農林水産省「消費者の部屋」特別展示「国有林野で学び、遊ぼう」（協力）
令和2年12月7日～12月11日（農林水産省）

③ 令和2年度国有林野事業業務研究発表会（協会会長賞の授与）

令和2年11月5日（林野庁）

○ 一般社団法人全国森林レクリエーション協会会長賞

（森林ふれあい部門）

課題名 「猪八重溪谷」のブラッシュアップによる地域創生
～ NPO法人との協働による取組 ～

受賞者 九州森林管理局 宮崎南部森林管理署 寺田 雄一郎 氏
特定非営利活動法人 ごんはる 谷口 由利子 氏

④ 世界遺産の森と木 フォトコンテスト（協賛）

募集期間 令和2年12月1日～令和3年1月31日

主催者（公社）国土緑化推進機構、（一財）日本森林林業振興会

3 森林インストラクター等人材育成事業

(1) 森林インストラクター養成講習の実施

森林インストラクターの資格試験を受けようとする者の知識や技能の水準の向上を図るため、「森林」、「林業」、「森林内の野外活動」及び「安全及び教育」の全4科目について講習を実施。講習修了者は、申請により「森林活動ガイド」として登録。

令和2年度の実施状況は次のとおり。

① 養成講習の公募案内の開始（令和2年1月21日）

② 養成講習受講者の募集開始（令和2年4月1日）

③ 養成講習の実施

区分	科目	期間	日数	場所	受講者数
講習Ⅰ (科目別講習)	森林	5.9～5.11	3	新型コロナウイルス 感染症対策の観点か ら中止	一人
	野外活動等	5.30～6.1	3		一人
	林業	6.13～6.14	2		一人
講習Ⅱ (全科目講習)	4科目	8.15～8.22	8	東京都文京区 林野会館	61人

(2) 森林活動ガイド養成事業

自然体験活動の指導者の確保が求められている中で、森林体験活動の指導者・パートナーである「森林活動ガイド」を養成。森林インストラクターの養成講習に併せた講習会を実施。

- 森林インストラクター養成講習に併せた講習会
森林インストラクター養成講習において森林活動ガイド養成講習の内容を盛り込んで実施。
- ① 令和 2 年 5 月 9 日～ 6 月 14 日（うち 8 日間）
※新型コロナウイルス感染症対策の観点から中止 受講者数 ー 人
- ② 令和 2 年 8 月 15 日～22 日 受講者数 61 人

4 森林インストラクター資格認定事業

令和 2 年度森林インストラクター資格試験の受験申込者数は 271 人（前年度 371 人）、合格者数は 134 人（同 107 人）で、平成 3 年度からの合格者数の累計は 4,554 人。合格者には、登録により「森林インストラクター」の称号を付与。

令和 2 年度の実施状況は次のとおり。

- ① 資格試験の公募案内の開始（令和 2 年 1 月 21 日）
- ② 資格試験受験者の募集開始（令和 2 年 6 月 1 日）

③ 一次試験の実施

期 日	試 験 地	会 場	申込者数
9 月 27 日	札幌市	北海道経済センター	8 人
	仙台市	ショーケー本館ビル	11 人
	東京都	青山学院大学	129 人
	名古屋市	東海工業専門学校金山校	31 人
	大阪市	ツイン 2 1 MID タワー	63 人
	高知市	高知城ホール	8 人
	福岡市	電気ビル本館	21 人

④ 二次試験の実施

期 日	試 験 地	会 場	受験者数
11 月 28～29 日	東京都	林野会館	151 人

- ⑤ 合格者の審査・決定（令和 2 年 12 月 9 日）
- ⑥ 合格者の公表・登録開始（令和 2 年 12 月 18 日）
- ⑦ 令和 2 年度の登録更新の開始（令和 2 年 11 月）

5 支部総会等の開催

支部総会・研修会等の開催状況

支部名等	開催日等	開催地等	本部出席者
道 央	2年8月6日	北海道札幌市	沼田理事長
旭 川	2年6月	書面決議	
帯 広	2年7月	書面決議	
北 見	2年6月	書面決議	
函 館	2年8月3日	北海道倶知安町	木下専務理事
青 森	3年2月	書面決議	
秋 田	2年12月	書面決議	
前 橋	2年8月	書面決議	
東 京	2年10月	書面決議	
長 野	2年6月	書面決議	
名古屋	2年8月	書面決議	
四 国	2年11月	書面決議	
九 州	2年9月	書面決議	

6 陳情・要請等の活動

支部を通じた要望事項や会員等からの照会事項について、林野庁等関係機関へ要請・照会等を実施。

7 会員組織の状況

令和2年度末における会員数

区 分		市 町 村	事 業 体	計
正 会 員	道 央 支 部	8	6	14
	旭 川 支 部	10	8	18
	北 見 支 部	8	2	10
	帯 広 支 部	6	2	8
	函 館 支 部	17	8	25
	青 森 支 部	20	9	29
	秋 田 支 部	11	8	19
	前 橋 支 部	12	23	35
	東 京 支 部	8	9	17
	長 野 支 部	5	5	10
	名 古 屋 支 部	5	1	6
	四 国 支 部	10	6	16
	九 州 支 部	9	2	11
	本 部	1	3	4
	小 計	130	92	222
賛 助 会 員		-	17	17
合 計		130	109	239